

協定の活動内容

No.	集落協定名	集落マスタープラン															集落戦略の作成	
		目指すべき将来像					将来像を実現するための活動方針											
		① 将来に わたり農業 生産活動等 が可能とな る集落内の 実施体制構 築	② 協定の 担い手とな る新たな人 材の育成・ 確保	③ 協定参 加者それぞ れが、作物 生産、加工 ・直売等 様々な工夫 により再生 可能な所得 を確保	④ その他	その他の内容	① 機械・ 農作業の共 同化等農業 組織の育成	② 高付加 価値型農業	③ 農業生 産条件の強 化	④ 担い手 への農地集 積	⑤ 担い手 への農作業 の委託	⑥ 新規就 農者等によ る農業生産	⑦ 地場産 農産物等の 加工・販売	⑧ 消費・ 出資の呼び 込み	⑨ 共同で 支え合う集 団的かつ持 続的な体制 整備	⑩ その他		その他の内容
1	大畑	○												○			作成完了	
2	裏納所	○												○			作成完了	
3	仁位所	○			○	スマート農業の推進								○	○	協定参加企業によるドローン散布	作成完了	
4	西山	○			○	農業生産活動がやりやすくなる集落内の施設整備及び簡易的な基盤整備								○	○	ため池改修、災害復旧工事負担金助成	作成完了	
5	井上				○	当集落では25年前に飢害復旧事業で整備した水路・圃場等が傷んできており、また、近年の災害により水路・圃場等が被災したところもある。このまま放置しておくとな農業生産活動等が困難になることが懸念されるため、農道整備及び水路の舗装等の基盤整備及び災害復旧工事を行うことにより、農業生産活動環境の改善を図る。 また、圃場等が中山間地域にあることからイノシシやウサギ等の鳥獣被害が多発しており、生産意欲が失われつつあるため、鳥獣対策を行い生産意欲向上を図る。 また、農用地の多面的機能増進と集落の景観をよくなるため、年に1回ひまわりを作付けする。									○	農道・水路の定期的な草刈り 景観作物の作付 鳥獣対策機器の整備（補修等） 災害復旧工事	-	
6	柳原	○													○	農道・水路の定期的な草刈り	-	
7	笹原	○			○	被災農地の復旧								○	○	災害復旧負担金の助成を行う。	作成完了	
8	田柄	○						○	○								作成完了	
9	大野	○												○			-	
10	桐野	○												○			作成完了	
11	駄道・天ヶ瀬	○												○			作成完了	
12	宮ノ浦	○												○			作成完了	
13	西の原	○												○	○	農作業の効率化及び生産性向上	作成完了	
14	船山	○					○										作成完了	
15	猪鹿				○	当集落は急傾斜の農地が点在し、農道・水田幅が狭く作業を行いにくい。また、山間地のため猪等の被害が甚大であり、作物の収穫が見込めない時もある。さらに高齢化が進み、担い手の問題や耕作放棄地の増加が懸念されている。 これらの諸問題の解決策として、集落全体で猪対策・営農活動をすすめる将来に備えていく。									○	定期的なワイヤーメッシュ点検 定期的な農道・水路の点検及び草刈り	作成完了	
16	山口	○			○	災害により被害にあった農地の復旧								○			作成完了	
17	平山				○	当集落は山間部に位置し、急傾斜の農地が点在し、不整田も多く、農業生産条件が悪い。また高齢化が進行し耕作放棄地の増加が懸念される。このため、集落全体で農業生産活動等を行っていく。 また、今年頻発する豪雨災害により被災した農地が増え、農業生産活動意欲の低下がみられるため、被災農地の復旧を行っていく。									○	農道・水路の定期的な草刈り 農地の保全 猪対策（捕獲処理日当1回あたり2,000円） 災害復旧工事負担金の助成	作成完了	
18	平古場	○												○			作成完了	
19	平野	○											○	○			作成完了	
20	谷				○	当集落では急傾斜の農地が点在し、圃場整備を行ったところもあるが、不整田も残っており、全体的に見て農業生産条件が悪い。また、他の中山間地域にある集落と同様に高齢化のため担い手の問題や耕作放棄地の増加を心配し、なんとかしたいと考えている。 このような問題に対応するため、集落全体で農業生産活動を行い、来る未来に対応していきたい。									○	年2回の作業 農作業時（定期的）、台風・大雨後の見回り 定期的な管理	-	
21	駄地1				○	当集落では急傾斜の農地がほとんどであり、不整田が多く農業生産条件が悪い。また、高齢化・過疎化が進行し耕作放棄農地の増加が懸念されている。このような問題に対応するため集落全体で農業生産活動を行っていく。									○	集落全体での農業生産活動	作成完了	
22	駄地2				○	当集落は山間部に位置し、急傾斜の農地が点在し、不整田も多く、農業生産条件が悪い。また高齢化が進行し耕作放棄地の増加が懸念される。このため、集落全体で農業生産活動等を行っていく。 また、農道の老朽化及び共同利用施設のため池の老朽化しているため、舗装及び補修を行う。									○	集落全体での農業生産活動 簡易的な農道整備を行う。 ため池補修	作成完了	
23	板屋	○												○			作成完了	
24	宿				○	当集落では高齢化が進行し、担い手不足が深刻となっている。また、圃場整備が完了してから25～35年経過し、農道・水路等の痛みが目立ってきている。 このような状況は今後も進行することが予測され、農道・水路等の痛みは農業生産活動の基礎を崩壊し、このことは農業生産活動の低下に關係する。 さらに、農業機械の過剰投資から生産性の低下も心配である。 このため、集落全体での営農活動の取組を協議し、農業生産活動の基礎を維持し、将来的には機械利用を中心とした営農を目指す。									○	○	水路・農道の整備を維持し荒廃農地の増加を防ぐ。また、未圃場整備地区の農道・水路の整備を検討。	作成完了
25	吉の尾	○												○			作成完了	
26	藤川内				○	当集落は、高齢化率、耕作放棄率が高く、今後も耕作放棄地の増加が懸念され、その中でも中山間にある水田については、農作業の負担が大きく、現在においても比較的高い割合で耕作放棄地の増加が進行している状況である。また、近年の米、みかんの価格低迷、イノシシの被害による生産意欲の減退などにより、耕作放棄地の増加に拍車がかかっている。今後耕作放棄地の増加を食い止めるため、集落全体で営農活動を実施し、作業の効率化を図るとともに、被害が増加傾向にある猪対策としては、ワイヤーメッシュ等の新設・管理を行い被害の軽減に努める。									○	耕作放棄地の増加防止 有害鳥獣対策	作成完了	
27	藤川内上				○	当集落は、急傾斜の農地が多く、農業生産条件が悪い集落です。また、高齢化も進み、今後耕作放棄農地の急増も心配しています。それに、以前整備した農道・水路が壊れてきたおり、農業生産活動に支障をきたすようになってきています。 このような問題に対応するため、集落全体で話し合いを重ね、高齢化の問題に対応できる組織の構築を目指す。									○	農道・水路の定期的な草刈り 定期的なワイヤーメッシュ点検	-	
28	白仁田	○												○			作成完了	
29	番所				○	当集落の農業は現在、個別経営（兼業が大半）による水田と果樹を主とする複合経営であるが、中山間地域での地形的不利性や最近の農業を取り巻く諸情勢が厳しく、農業経営の採算性難により兼業化、就農者の高齢化と後継者（担い手）不足での将来の存続が不安になっている。このため、集落農業を守っていくためにも集落全体での農業生産活動を行っていく。									○	集落協定全体での農業活動 ・農道、水路の草刈り ・農地の保全維持管理	-	
30	岸川	○					○	○									作成完了	
31	松ヶ浦	○												○			作成完了	
32	相ノ浦				○	当集落は、高齢化が進行や農道及び水路ため池周辺の老朽化及び大雨災害による被害の問題により今後耕作放棄地の増加が心配される。これらの問題を解決するために、集落全体での農業生産活動や農道及び水路ため池周辺の舗装及び補修等の基盤整備を行い、耕作放棄地の増加を食い止めるよう努めている。									○	集落内の簡易的な基盤整備	-	
33	四下				○	当集落は、農業者の高齢化、過疎化が進行し、担い手の附則が深刻となっているため、集落全体での耕作放棄地の防止を図り、効率的な農業生産活動を行っていく。また、水路整備工事が予定されているため、工事負担金の助成を行う。									○	集落協定全体での農業活動 ・農道、水路の草刈り ・農地の保全維持管理	作成完了	